



大門小だより

4月号

大門大好き いい仲間 進んで学ぼう 元気な子



令和5年4月7日
横浜市立大門小学校

節目の年を迎えて

～ SMILE 大門小 未来にはばたけ ～

校長 能登 正明

この春も期待に胸を膨らませた1年生や教職員を迎え、新しい一年がスタートしました。今年度も、ご家庭や地域のご支援をいただきながら、子どもたちのために教職員一同力を合わせて教育活動に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度は大門小学校が開校して50年目という節目の年になります。3月末には、歴代PTA会長の方や地域の自治会や役員の皆様をお迎えして創立50周年記念事業の総会が行われ、記念事業についての報告がありました。子どもたちを中心に、地域の皆さんとともにお祝いの一年にしていきたいと思っております。

ちなみに、この大門小学校が開校したのは昭和48年（1973年）のことでした。その年の出来事を調べてみると、野球ではジャイアンツが9連覇を達成し、大相撲では輪島関が活躍していた頃です。昨今はWBCが大きな話題になりましたが、開校当時もプロ野球が大人気で、毎晩のようにナイター中継がテレビで行われていました。小学校3年生だった私も、王や長嶋が活躍するジャイアンツのファンで、放課後は草野球に夢中だった、そんな時代でした。

一方世界では、この年の1月にベトナム和平協定締結、10月には第四次中東戦争勃発、それによる第一次オイルショックなどの大きな出来事がありました。

そのような時代の中、大門小学校は創立当初714名の児童数からスタートし、一番多い頃は昭和54年に1090名という児童数だったそうです。

昭和、平成、令和と元号も変わり、令和5年度は551名でのスタートとなります。子どもたちのたくさんの「スマイル」を大切に、良い一年にしていければと思っております。

昨年度まで、新型コロナウイルス感染症対策として、毎日の健康観察にご家庭で取り組んでいただきありがとうございました。新年度からは、健康観察票の提出はありませんが、新型コロナウイルス感染症に関わらず、ご家庭でのお子様の健康観察、健康管理には十分にご留意ください。マスクに関しましても、子どもや教職員の着用は求めないということになりました。昨年度までの長期にわたる感染防止対策へのご理解ご協力にあらためて感謝申し上げますとともに、今年度も引き続き学校や子どもたちへのあたたかいご支援、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。